

## 村松一氏文書（1）概要

- 1: 文書群番号 109029
- 2: 文書群名 村松一氏文書（1）
- 3: 出所 村松一（はじめ）氏
- 4: 家業・役職等 尼崎大気汚染公害訴訟弁護団事務局・尼崎南部再生研究室ほか
- 5: 地名 尼崎市
- 6: 行政区分 尼崎市
- 7: 歴史  
尼崎東発電所は、大正14年(1925)、東浜新田(現東浜町)の阪神電鉄東浜発電所の北側に設置された日本電力(株)尼崎火力発電所がその前身である。昭和14年(1939)4月に日本発送電(株)に移管されて尼崎東発電所となったのち、同17年に東浜発電所を統合、同26年には関西電力(株)に移管された。同39年4月にいったん廃止、その跡地に新しい火力発電所が設置された。  
村松一氏は太平洋戦争中に予科練に志願、採用後は特攻隊員として飛行訓練を受けていたが、そのまま終戦を迎えた。戦後は、関西電力尼崎東発電所汽機課に勤務した。労働組合内の文芸部草筵会(のちに尼崎東発電所文化体育会文芸班)に所属、『草筵』『群筆』等の同人誌に数多く寄稿したほか、その編集にもあたった。北村英治氏のレッド・パージをめぐる関西電力との裁判では、「北村英治さんの裁判を支持し励ます会」に所属、北村氏の活動を支援した。北村氏は、尼崎東発電所にボイラーマンとして入社、その後組合の専従となったが、昭和23年より日本共産党に入党していたため、尼東(当時)よりレッド・パージを受けた人物である。  
村松氏はまた、尼崎大気汚染公害訴訟でも弁護団事務局を務めた。
- 8: 伝来 平成21年8月、村松氏が所蔵、収集していた史料を史料館へ寄贈。
- 9: 史料入手先 村松一氏
- 10: 点数 59点(目録件数22件)
- 11: 年代 昭和13年(1938)～平成9年(1997)
- 12: 構造と内容  
本文書群は、(1)太平洋戦争中の軍事関連地図4点、(2)戦後直後から安保闘争期にかけての新聞9点及び雑誌類5点、(3)杭瀬地区の公害反対運動活動記録年表1点、(4)村松氏によりまとめられた雑誌類ファイルからなる。  
(4)には40点の史料がまとめられている。内容は、主に①北村英治氏の労働運動等活動記録や労働運動関連の配布ビラ(コピー)、②昭和16、17年(1941、42)に兵庫県立尼崎工業学校校友会が発行した会誌、同校報国団発行誌『くろがね』、③尼崎東発電所等の労働組合内で結成された文芸部発行の機関誌『草筵』、雑誌『群筆』等からなる。
- 13: 関連史料 尼崎大気汚染公害訴訟関係資料ほか
- 14: 閲覧条件 原本
- 15: 作成者 河野未央